

基本方針1 市町村とともに小・中学校の教育力を充実します

【基本的方向】

- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。

【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	中学校の学校力向上へ向けた重点支援 （スクール・エンパワーメント推進事業）	学力向上に積極的に取り組む府内 84 中学校に学力向上担当教員を配置するとともに、府教育委員会に設置した「支援チーム」が学校の取組みを検証し、市町村教育委員会とともに指導・助言を行った。
	少人数学級編製の推進 （35 人を基準とした少人数学級編制）	学校生活の基礎を築くためには、きめ細かな少人数での指導が重要であると考え、1 年生は標準法による基礎定数、2 年生は国加配定数を活用し、35 人を基準とした少人数学級編制を実施した。
	少人数・習熟度別指導の推進 （習熟度別指導推進事業）	児童・生徒の学習理解を促進するため、中学校、小学校 3 年生以上において、少人数・習熟度別指導を実施した。
②	授業改善への支援 （市町村研修支援プロジェクト・校内研究支援プロジェクト）	市町村教育委員会の体系的な研修の実施を支援するため、授業づくりセミナー及び ICT 活用研修に府教育センターの指導主事を研修講師として派遣した。また、府教育センター及び市町村教育委員会の指導主事並びに授業改善等の校内研究に取り組む学校の教員で構成するワーキングを設置し、授業研究や校内研究の推進に取り組んだ。
	英語教育の充実 （使える英語プロジェクト事業）	義務教育終了段階で、自分の考えや意見を英語で伝えられる生徒の育成をめざすため、「英語を使うなにわっ子」育成プログラムを作成し、府内全小・中学校（政令市除く）に配付するとともに、地区別研修や会議を通じ、実践事例を府内の小・中学校へ周知した。

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
③ 【基本方針4 の再掲】	道徳教育の推進	小・中学校については、道徳の時間の積極的な地域等への公開や道徳教育公開講座を通じた家庭・地域との連携の推進について市町村教育委員会に指導・助言した。 府立高校については、各校が作成する道徳教育の全体計画に基づき、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進することを周知した。
	人権教育の推進	小・中学校については、市町村教育委員会と連携し、人権教育教材集・資料を活用した研修を実施するとともに、人権教育フォーラムを実施した。 府立高校については、共同研究校24校、共同研究員・研究協力員181人の体制により、研究交流会議やテーマ別研修会等を開催した。

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	計画策定時の現状値 (24年度)	目標値 (29年度)	実績値 (25年度)	点検結果
○指標1 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	小6 国A：61.2%（全国：62.7%） 国B：47.9%（全国：49.4%） 算A：77.1%（全国：77.2%） 算B：57.3%（全国：58.4%） 中3 国A：73.3%（全国：76.4%） 国B：63.0%（全国：67.4%） 数A：61.7%（全国：63.7%） 数B：38.8%（全国：41.5%） (注1)	小6 全国水準を上回る 中3 全国水準をめざす	小6 国A：70.7%（全国：72.9%） 国B：52.6%（全国：55.5%） 算A：77.3%（全国：78.1%） 算B：56.3%（全国：58.2%） 中3 国A：77.0%（全国：79.4%） 国B：47.2%（全国：51.0%） 数A：65.0%（全国：67.4%） 数B：56.9%（全国：59.8%）	小6 25年度実績は、全科目・区分において全国水準との差が拡大した。 中3 △ 国語A区分及び数学B区分の25年度実績については改善が見られたが、国語B区分及び数学A区分については全国水準との差が拡大した。 ※全国水準との差：全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合で算出
○指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率	小6：8.4%（全国：8.1%） 中3：8.6%（全国：6.8%） (注2)	小6：全国水準を下回る 中3：全国水準をめざす	小6：4.7%（全国：4.2%） 中3：7.0%（全国：5.5%）	△ 25年度実績は、中3については全国水準との差が縮小したが、小6については全国水準との差が拡大した。

(注1) 計画策定時は24年度全国学力・学習状況調査結果を記載していたが、25年度全国学力・学習状況調査結果に修正した（以下（注2）まで同じ）。

小6…国A：80.5%（全国：81.6%）、国B：53.5%（全国：55.6%）、算A：74.2%（全国：73.3%）、算B：58.4%（全国：58.9%）

中3…国A：73.1%（全国：75.1%）、国B：59.1%（全国：63.3%）、数A：60.2%（全国：62.1%）、数B：45.9%（全国：49.3%）

(注2) 小6…4.4%（全国：4.1%）、中3…7.9%（全国：6.0%）

【基本方針1】

指標	計画策定時の現状値 (24年度)	目標値 (29年度)	実績値 (25年度)	点検結果
○指標3 「家で計画的に学習する」と回答した児童・生徒の割合	小6：49.7%（全国：58.9%） 中3：42.3%（全国：44.5%） （注1）	向上させる	小6：51.1%（全国：61.0%） 中3：44.8%（全国：46.6%）	○ 25年度実績はいずれも前年度を上回った。
○指標4 「児童・生徒は熱意を持って勉強している」と回答した学校の割合	小6：20.9%（全国：22.6%） 中3：13.6%（全国：19.7%） （注2）	向上させる	小6：21.8%（全国：22.6%） 中3：16.3%（全国：19.4%）	○ 25年度実績はいずれも前年度を上回った。
○指標5 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合 【基本方針4の再掲】	小6：73.0%（全国：75.7%） 中3：60.2%（全国：66.4%） （注3）	向上させる （全国水準をめざす）	小6：73.6%（全国：76.1%） 中3：61.2%（全国：67.1%）	○ 25年度実績はいずれも前年度を上回り、全国水準との差も縮小した。
○指標6 「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答した児童・生徒の割合 【基本方針4の再掲】	小6：91.7%（全国：93.0%） 中3：92.5%（全国：94.2%） （注4）	向上させる	小6：93.1%（全国：94.4%） 中3：93.9%（全国：95.3%）	○ 25年度実績はいずれも前年度を上回った。

（注1）計画策定時は24年度全国学力・学習状況調査結果を記載していたが、25年度全国学力・学習状況調査結果に修正した（以下（注4）まで同じ）。

小6：49.5%（全国：58.0%）、中3：40.5%（全国：42.9%）

（注2）小6：20.8%（全国：22.4%）、中3：13.5%（全国：19.2%）

（注3）小6：72.8%（全国：76.8%）、中3：60.6%（全国：68.2%）

（注4）小6：93.1%（全国：94.1%）、中3：93.8%（全国：94.9%）

【自己評価】

- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめて、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
 - ・「全国学力・学習状況調査」における平均正答率について、中学校の国語 A 区分・数学 B 区分に改善が見られたものの、全国水準との差は依然として大きく、小学校については、全ての教科・区分において、全国水準との差が拡大した。無解答率についても、中学校において全国水準との差が縮小したが、小学校において改善が見られなかった。また、「家で計画的に学習する」と回答した児童・生徒の割合及び「児童・生徒は熱意を持って勉強している」と回答した学校の割合は、小・中学校とも増加したものの、依然全国水準との差が見られる。
 - ・学力調査結果は、かなり厳しい状況であり、特に小学校では、府の施策の縮小に比例して結果が悪くなっている傾向も見られる。今後、改善のあらわれていない市町村の状況を明らかにし、必要に応じて指導を強化することで、府全体の学力向上に向け取り組んでいく。
 - ・これからの社会で求められる確かな学力の一つとして、英語教育改革を強力に進めるため、研究協力校の小学校1年生から6年生までの全学年でフォニックスを活用した英語学習を実施し、「英語学習パッケージ」の開発に取り組むとともに、小学校で育んだ力を中学校でさらに伸ばすため、洋書を活用したエクステンシブリーディングの実践研究を行う。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。（基本方針4の一部再掲）
 - ・小・中学校については、市町村教育委員会と連携した人権教育研修や、家庭・地域と連携した道徳教育の推進などに取り組んだ。これらの成果として、「自分には良いところがある」、「人の気持ちがわかる人間になりたい」、「学校のきまりを守っている」と回答した児童・生徒の割合はいずれも向上した。

【評価審議会における審議結果】

○府の点検及び評価結果は、概ね妥当である。

【基本的方向①及び②について】

- ・小学校に対する学力向上の施策を縮小した結果、小学校の平均正答率の全国水準との差が拡大していることから、施策を終了しても学力が維持されるような取組みが必要である。
- ・子どもの学力については、学校も教師も努力しているなかで個別学校の努力だけでは如何ともしがたい状況がある。福祉と教育がもっと連携し、多面的かつ一体的に、子どもを支援していく必要がある。
- ・教員の加配措置など、小学校に対する府の支援により、平均正答率の全国水準との差が24年度まで縮小していたが、市町村教育委員会はその成果をきちんと検証し、成功事例には継続して取り組むべきである。また、府の支援がなくなるのであれば、市町村独自で取り組む必要があるが、そのような取組みを府として普及させていくことが必要である。
- ・正答率が低いあるいは無解答率が多い領域に何らかの共通点があるのか、他府県との違いはあるのかといった、中身に踏み込んだ分析が必要である。

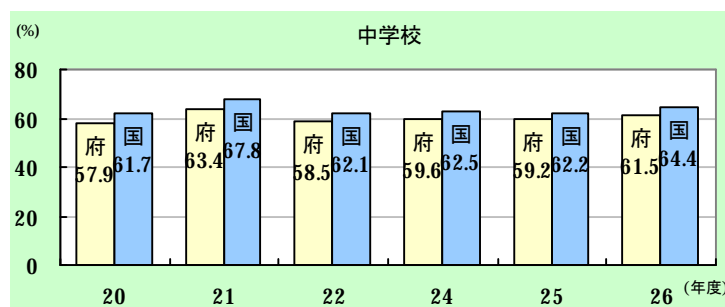
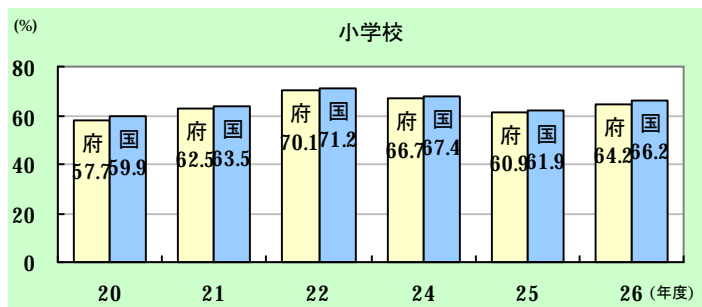
○補足意見

【基本的方向①及び②について】

- ・スクールソーシャルワーカーを小・中学校全校へ配置するなど、福祉と教育との連携を進める取組みが必要である。
- ・学校が児童・生徒に課す宿題や家庭への連絡事項が十分に保護者に行き届いていない。学校のホームページで学年ごとのお知らせや提出物、宿題を掲載するなど、保護者が家庭で子どもに声掛けしやすい仕組みづくりを検討してもらいたい。

(参考)

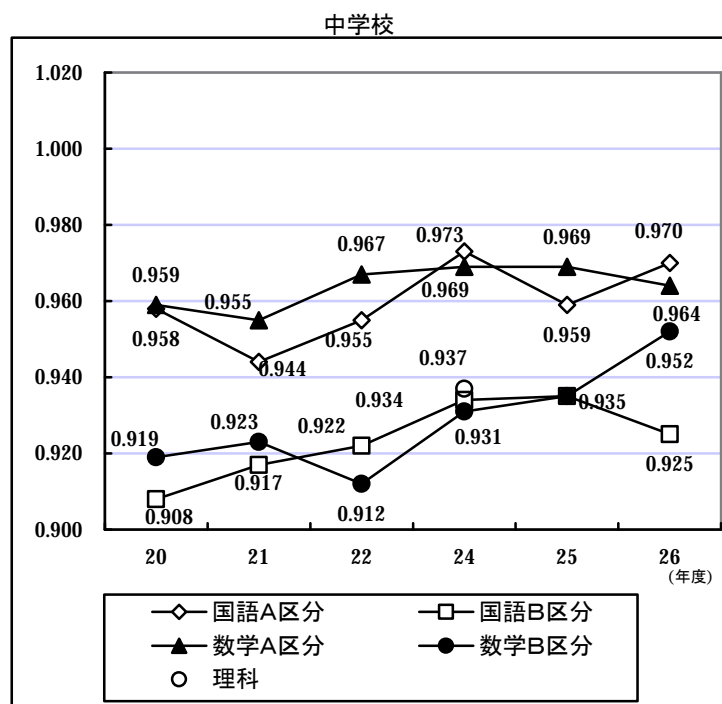
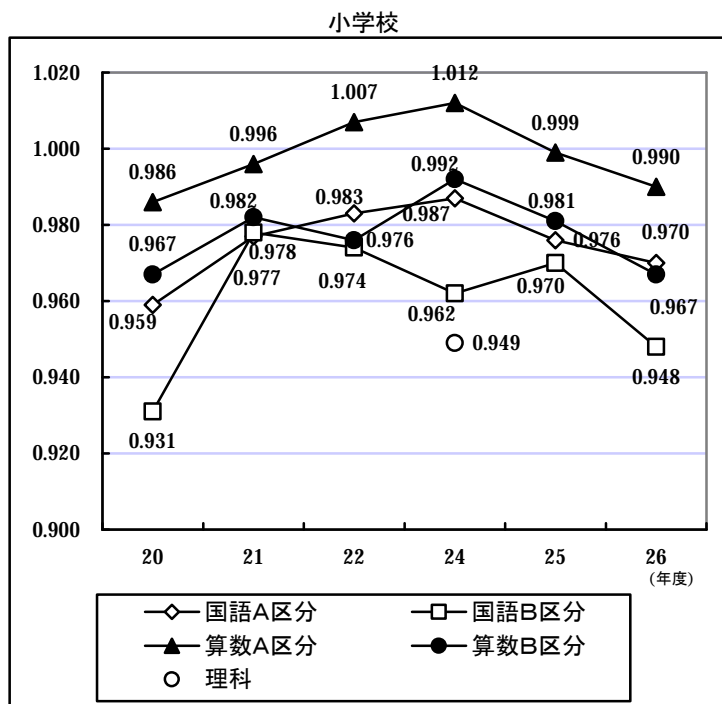
◆指標1「全国学力・学習状況調査」における平均正答率



20～22、24年 国調査 (政令市を含む抽出調査)
 ※23年度は実施されず
 25～26年 国調査 (政令市を含む悉皆調査)

※国語、算数(数学)の各区分の平均正答率の平均

【校種・教科・区分別 正答率/対全国比経年比較】



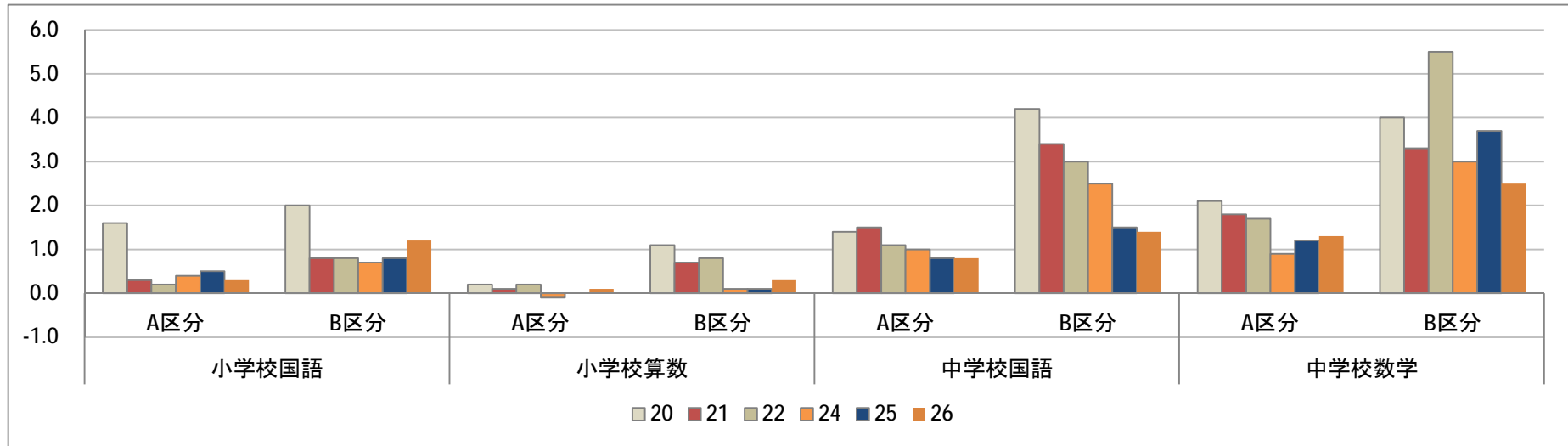
※全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合

◆指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率

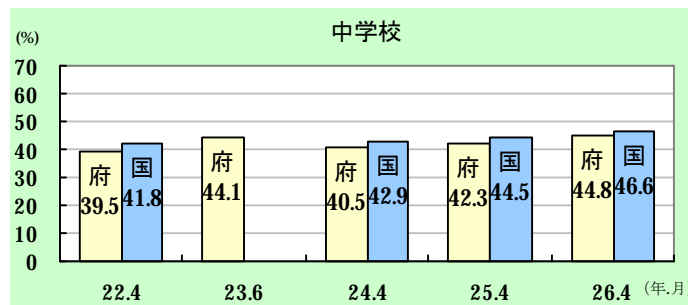
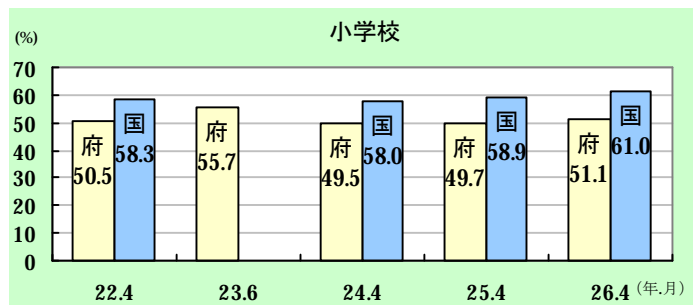
(%)

		20年度			21年度			22年度			24年度			25年度			26年度		
		大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差
小学校国語	A区分	12.5	10.9	1.6	10.2	9.9	0.3	2.8	2.6	0.2	3.4	3.0	0.4	11.2	10.7	0.5	2.6	2.3	0.3
	B区分	14.3	12.3	2.0	12.9	12.1	0.8	5.0	4.2	0.8	7.3	6.6	0.7	14.4	13.6	0.8	10.4	9.2	1.2
小学校算数	A区分	3.2	3.0	0.2	2.2	2.1	0.1	2.6	2.4	0.2	2.2	2.3	-0.1	1.7	1.7	0.0	1.0	0.9	0.1
	B区分	7.1	6.0	1.1	6.9	6.2	0.7	7.0	6.2	0.8	4.7	4.6	0.1	6.4	6.3	0.1	4.6	4.3	0.3
中学校国語	A区分	5.2	3.8	1.4	4.8	3.3	1.5	3.8	2.7	1.1	4.5	3.5	1.0	3.2	2.4	0.8	3.9	3.1	0.8
	B区分	12.9	8.7	4.2	9.0	5.6	3.4	9.8	6.8	3.0	7.3	4.8	2.5	4.3	2.8	1.5	4.9	3.5	1.4
中学校数学	A区分	8.7	6.6	2.1	6.9	5.1	1.8	8.0	6.3	1.7	3.6	2.7	0.9	6.5	5.3	1.2	5.6	4.3	1.3
	B区分	17.4	13.4	4.0	13.0	9.7	3.3	24.8	19.3	5.5	16.1	13.1	3.0	20.4	16.7	3.7	13.4	10.9	2.5

校種・教科・区分別 無解答率 対全国差経年比較

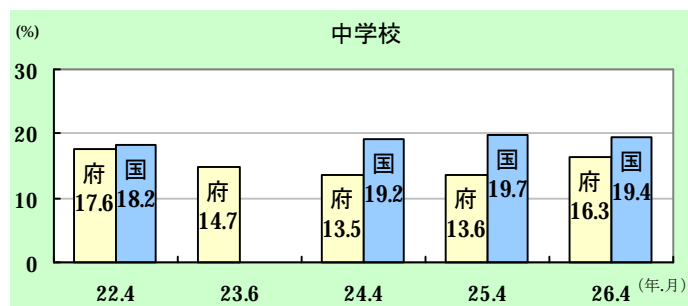
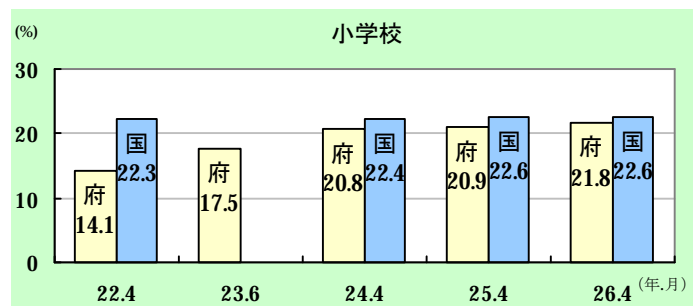


◆指標3 「家で計画的に学習する」と回答した児童・生徒の割合



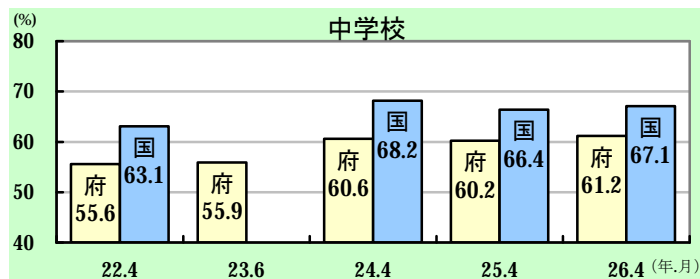
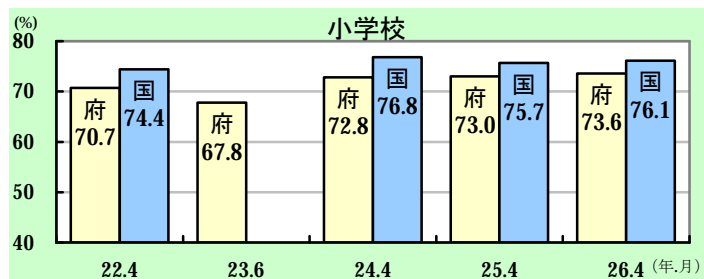
22・24年 国調査 (政令市を含む抽出調査)
 23年 府調査 (政令市を除く府域41市町村での悉皆調査)
 25・26年 国調査 (政令市を含む悉皆調査)

◆指標4 「児童・生徒は熱意を持って勉強している」と回答した学校の割合



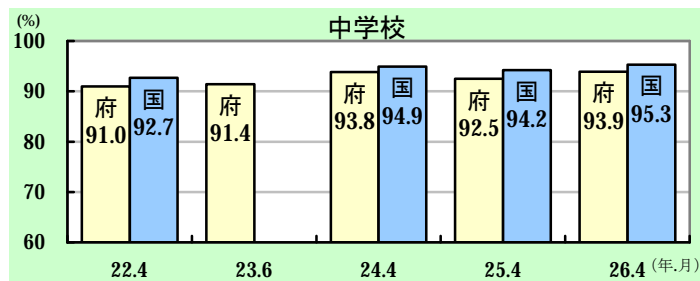
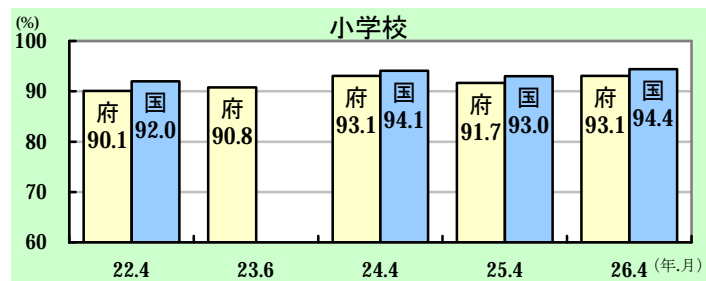
22・24年 国調査 (政令市を含む抽出調査)
 23年 府調査 (政令市を除く府域41市町村での悉皆調査)
 25・26年 国調査 (政令市を含む悉皆調査)

◆指標5 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合 (基本方針4 指標27の再掲)



22・24年 国調査 (政令市を含む抽出調査)
 23年 府調査 (政令市を除く府域41市町村での悉皆調査)
 25・26年 国調査 (政令市を含む悉皆調査)

◆指標 6 「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答した児童・生徒の割合（基本方針 4 指標 28 の再掲）



22・24年 国調査（政令市を含む抽出調査）
 23年 府調査
 （政令市を除く府域 41 市町村での悉皆調査）
 25・26年 国調査（政令市を含む悉皆調査）